

## 村上市議会乾杯条例検討「意見交換」趣意書(案)

師走の候、各位にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本市は、平成20年4月1日、周辺5市町村が合併し誕生して以来、新市一体感の醸成、新市としての施策の展開を進め、早や、10年の年月を数えるに至ります。

この間、各位のご努力、また市行政へのご協力により、新たな村上市としての歴史を重ねてまいったわけではありますが、ここで、次の10年、更に本市が、そして、市民ひとりひとりが、生き生きとその個々の持てる力を十二分に発揮し、連携し、未来につなげていくために、村上市議会として初の、皆様からの参加をうたう、条例制定を検討していることです。

当議会では、昨年7月から、「三方よしの精神」(売り手よし 買い手よし 世間よし)で、市内全地域の産物(村上市の地酒、農林水産物・料理・物産等、市内で生産・加工・調理されたものなどや、おもてなし・情けのこころまで含めた地域資源)を活用し、この地酒で乾杯することにより、村上市の活性化につなげることを強く希望し、検討を進めてまいりました。

今年、平成28年1月には、県内、第1号の条例制定市となった長岡市議会に先進地視察を行い、8月に具体検討のためプロジェクトチームである「乾杯条例検討プロジェクト会議」を設置し、更に10月に山形県米沢市並びに天童市への視察を重ね、同プロジェクト会議での検討を進めてまいりました。

この度は、この検討において、広く市民の皆様からご意見をお聞きすることとして、まずは、関係の皆様方との意見交換をさせていただきたく、今般、お願いした次第であります。

何卒、本趣旨をご理解のほどよろしくお願いいたしますとともに、忌憚のないご意見・ご見識をいただけますことをお願い申し上げます。

平成28年12月

村上市議会乾杯条例検討プロジェクト会議

座長 尾形修平

# 参 考

## 村上市観光振興議員連盟設立

村上市議会では、村上市の観光振興を積極的に推進し、観光振興によるまちづくりを実現し、もって村上市の発展に寄与することを目的として、下記「趣意書」で議員の参加を呼びかけ、去る、10月21日、議員全員の参加による「村上市観光振興議員連盟」を設立いたしました。

平成28年5月11日

村上市議会議員 各位

村上市議会 議長 三田 敏秋

### 村上市観光振興議員連盟設立趣意書

立春の候、議員各位にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本市は、平成20年4月1日、周辺5市町村が合併し誕生して以来、観光においては、海・山・川など自然環境に恵まれた地域資源や、先人から脈々と受け継がれてきた歴史・文化財産・生業等が豊富にある地域であり、これまでも市民主導の事業展開で大きな成果を上げてきた経緯があります。

市では平成22年3月、その基本理念を「人が一番の観光魅力 ～つくり・育て・広める観光振興によるまちづくり～」とした村上市観光振興計画を定め、観光振興によるまちづくりを進めることが、地域の第1次産業から、第2次産業、第3次産業の振興につながるとともに、人・物・情報の交流を盛んにし、本市の魅力さをさらに高め、地域の活性化を導き、市民生活の向上にもつながるものであるとしてきたところであります。

観光振興計画の目標は、市民協働の観光まちづくりによる村上市の観光イメージアップ、300万人観光の実現による交流人口の拡大、通年観光の実現による通年型観光地の形成であります。この市民協働の観光まちづくりのための施策のひとつとして、観光協会の役割と組織強化を挙げております。

村上市観光協会は、この観光振興計画をベースに、「観光によるまちづくり」をめざし、観光宣伝の充実と観光資源の開発、観光地の整備保全を図り村上市の経済発展に寄与することを目的として事業展開をおこなってきており、本市の観光振興に多大な貢献をしていただてきたところであります。

一方、最近のインバウンドへの対応とその充実化や、産業の振興についても、6次産業化の推進が喫緊の大きな課題となっております。

これら課題に早急に対応するとともに、刻々と変化する状況にも的確に即応できる体制を整備していくためには、観光協会と行政や関係団体との連携が重要であることは言うまでもありませんが、市議会、市議会議員の果たすべき役割もより重要になってきます。

そのためにも、村上市議会議員と村上市観光協会との意見交換を積極的に行い情報の共有を図り、もって、村上市の観光振興によるまちづくりを実現すべく、標記議員連盟を設立することといたしました。議員各位にも、設立趣旨にご賛同賜りたくお願い申し上げます。



H28.10.21 石田屋



村上市観光協会との意見交換